

## Unit 6 オーストラリアの兄

本校の育成する資質・能力

知識・技能

思考力・判断力・表現力

主体性・協働性

- 1 日時 令和2年10月7日(水) 13:30~14:20
- 2 学年・学級 1年D組(男子17名 女子17名 計34名)
- 3 場所 1年D組教室
- 4 単元について

## (1) 単元観

中学校学習指導要領(平成29年告示)では、中学校外国語科においては、次に示す資質・能力の育成を目指すことと示されている。

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。【知識および技能】
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

本単元では、中学校学習指導要領「話すこと(発表)」の「(イ) 日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。」指導と位置づける。

本単元は、咲がスピーチでオーストラリアにいる兄について生活ぶりを紹介し、その内容についてアレックスが質問をしたり、さらにオーストラリアに生息する動物について咲がベッキーと対話をしたりする、という展開になっている。言語材料としては、一般動詞の三人称単数現在形の肯定文、疑問文とその応答、否定文などが扱われる。いずれも、第三者を紹介する場面で用いられる重要な文法事項であり、「話すこと」を通じて、身近な人やものなどを紹介する場面を設定しやすい単元となっている。

## (2) 生徒観(調査結果等から見る課題)

英語の授業に関するアンケートの結果は以下の通りである。

| 質問                    | 割合      |         |            |         |
|-----------------------|---------|---------|------------|---------|
|                       | よく当てはまる | まあ当てはまる | あまり当てはまらない | 当てはまらない |
| 英語の勉強は好きです。           | 15.2%   | 48.5%   | 30.3%      | 6%      |
| 授業はよく分かります。           | 24.2%   | 54.5%   | 18.2%      | 3%      |
| 英語は必要だと思います。          | 27.3%   | 24.2%   | 36.4%      | 12.1%   |
| ペアやグループで活動を行うことが好きです。 | 39.4%   | 36.4%   | 18.2%      | 6%      |

|                  |  |       |       |       |
|------------------|--|-------|-------|-------|
| 英語を使って話すことが好きです。 | 21.2%  | 30.3% | 27.3% | 21.2% |
| 英語を使って書くことが好きです。 | 21.2%  | 24.2% | 33.3% | 18.2% |
| 英語が好きな理由         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・話すことが楽しい。</li> <li>・将来役に立つと感じる。</li> <li>・楽しいし、おもしろい。</li> <li>・リスニングが楽しい。</li> <li>・読むことや、書くことができるようになると達成感を味わえる。</li> <li>・習ったことが生かせるようになると楽しい。</li> <li>・自分が知らなかったことを知れてワクワクする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> |       |       |       |
| 英語を苦手と感じる理由      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語は必要ないと感じる。</li> <li>・発音やスペルを覚えられない。</li> <li>・話すことや書くことができない。</li> <li>・できないと恥ずかしさを感じる。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>  |       |       |       |

本年度の1年生(D組)は、入学当初(4月)の「英語が好きですか。」というアンケートに対し、肯定的回答は53.0%であった。肯定的回答の理由として、「話せるようになったらカッコいい。」や「コミュニケーションをとってみたい。」などがあつた。ほぼ半数の生徒が英語に興味がある様子であったが、英語に対して苦手意識を持っている生徒が多いということが分かつた。その理由として、小学校での外国語活動において「何を言っているのか全くわからない。」「分からないまま進むからできるようになつたと感じない。」「覚えられないから楽しくない。」などの理由が挙げられた。

また、今回のアンケート結果(9月)では、「英語の勉強が好き」と答えた生徒は63.7%であった。4月当初から比較すると、10.7%上昇したことが分かる。また、「授業はよく分かる」という質問の肯定的回答は78.7%であった。しかし、「英語は必要だと思ふ」に対する肯定的回答は51.5%であり、現在も英語を学習することに対するモチベーションが低いということが分かる。

以上のことから、課題は英語を使う必然性を感じていないことと「書くこと」「話すこと」に対する苦手意識が高いことの二つであると考えられる。その結果、英語を使って表現する(output)「話す活動」や「書く活動」に対して苦手意識を持っている生徒は、それぞれ48.5%(話すこと)51.5%(書くこと)と約半数、過半数いることが課題だ。英語を苦手と感じる理由として、以上のことを挙げているが、主に学習したことを表現することに自信がないことが原因であると感じる。英語を使って表現することの楽しさを感じる機会を作る必要性が求められている。

### (3) 指導観(指導改善のポイント)

一つ目の英語を使う必然性を感じていないという課題については「目的や場面、状況」の設定をして指導を行う。今回は、ALTのお気に入りの人物の紹介を聞き、ALTが生徒に対してお気に入りの人物についての紹介をしてほしいとしている。その投げかけに対して生徒は自分のお気に入りの人物について紹介をするという目的を設定している。

二つ目の「書くこと」「話すこと」に対する苦手意識が高いという課題については、即興で話す活動に継続的に取り組む指導を行う。帯活動としてペアでの活動を取り入れたり、前時に学習した語彙や表現を使って、話す活動を繰り返し行い、基礎的な文構造や語順の定着を図る。また、しっかり声を出して積極的に英語を使わせるために、ペアやグループでの考えを交流する場面を設定する。

今回のスピーチでは、ALTが聞き手となる。視線(アイコンタクト)、声の大きさに注意するとともに、大切なことを強調したり、抑揚をつけて話したりすることで聞き手に分かりやすいスピーチになるように意識させる。また、思考ツールを使うことで、ただ発表するだけでなく、ALTが知りたい情報は何かを考えて文章を作成することで、相手に伝わる発表をすることができると思わせるよう指導する。

その際、ALTのスピーチを見て比較したり、ペアやグループでお互いのスピーチを聞いたりしながら気づきなどを交流することで、自分のスピーチを客観的に振り返り、よりよい発表につなげさせたい。英語を話すことに自信がない生徒もアドバイスをもらうことでどうすれば良いかを考えることができ、

改善されていくことで少しでも自信につながると考える。

単元末には、ALT に講評してもらい、英語で自分の伝えたいことが伝わったことに自信を持たせたい。

## 単元の目標

- 三人称単数現在形の肯定文，疑問文とその応答，否定文の構造を理解する。【知識及び技能】
- 自分と相手以外の人やものについて，聞き手に正確に伝えることができる。【思考力・判断力・表現力】
- 自分と相手以外の人やものについて，聞き手に配慮しながら伝えようとしている。【学びに向かう人間性】

## 本校で育成を目指す資質・能力と評価規準との関わり

| 資質・能力       | 本校が育成を目指す資質・能力                                      | 本校が育成を目指す資質・能力を身に付けさせるための手立て  |
|-------------|---|---|
| 知識・技能       | 三人称単数現在形の肯定文・疑問文とその応答・否定文の形・意味・用法を理解することができる。       | 教科書本文を読み，引用しながら本文の情報と考えたことを伝え合えるようにする。                                  |
| 思考力・判断力・表現力 | 自分と相手以外の人やものを伝える際に，どんな順番でどんな言葉を使って表現するかを考察することができる。 | イメージマップを使い，様々な情報を整理することによって必要な情報を精選させ，適当な表現ができるようにさせる。                  |
| 主体性・協働性     | 聞き手に配慮しながら，自分の紹介したい人について伝えようとしている。                  | 他者の意見を交流することで，既習事項やコミュニケーションを円滑にする表現に気が付き，繰り返し使うことで場面に応じて使えるように身に付けさせる。 |

## 単元の評価規準

| ア 知識・技能   | イ 思考・判断・表現  | ウ 主体的に学習に取り組む態度                                     |
|---|---|---|
| <p>【知】三人称単数現在形を用いた文の構造について理解している。</p> <p>【技】自分の好きな人物について三人称単数現在形を用いて話す技能を身に付けている。</p> | <p>ALT にスピーチするという目的に応じて，自分の好きな人物について事実や自分の考え，気持ちなどを，三人称単数現在形を用いて内容を整理して伝え合っている。</p> | <p>ALT に自分の好きな人物についてよく知ってもらうために内容を整理し，話そうとしている。</p> |

## 指導と評価の計画

| 次 | 学習内容   | 評 価        |
|---|--|------------|
|   |  | 評価規準（評価方法） |
| 1 | <p>○Part 1 :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般動詞の三人称単数現在形の肯定文の意味や用法を理解できる。</li> <li>・紹介するためには，どんな情報が必要で，どうやって聞くかを考え，コミュニケーション活動を行う。</li> <li>・コミュニケーション活動を通じて，自分と相手以外の人やものについて表現する。</li> <li>・一般動詞の三人称単数現在形の肯定文の文構造</li> </ul> |            |

|           |  |   |
|-----------|--|---|
|           | を理解する。   |   |
| 2         | ○Part 1 :<br>咲の兄春樹に関するスピーチを読んで、内容を理解することができる。<br>・三人称単数現在形の肯定文を含むスピーチを読み、概要を捉える。<br>・本文から読み取ったことを伝え合う。<br>・本文をペアで日本語から英語に直して読む。                        |   |
| 3         | ○Part 2 :<br>一般動詞の三人称単数現在形の疑問文とその応答の意味や用法を理解できる。<br>・コミュニケーション活動を通じて、自分と相手以外の人やものについてたずねたり、答えたりする。<br>・一般動詞の三人称単数現在形の疑問文とその応答の文構造を理解する。                |   |
| 4         | ○Part 2 :<br>スピーチに対するアレックスの質問とその応答を読んで、内容を理解することができる。<br>・三人称単数現在形の疑問文とその応答を含む対話文を読み、概要を捉える。<br>・本文から読み取ったことを伝え合う。<br>・本文をペアで日本語から英語に直して読む。            |   |
| 5         | ○Part 3 :<br>一般動詞の三人称単数現在形の否定文の意味や用法を理解できる。<br>・コミュニケーション活動を通じて、自分と相手以外の人やものについてたずねたり、答えたりする。<br>・一般動詞の三人称単数現在形の否定文の文構造を理解する。                          |   |
| 6         | ○Part 3 :<br>ベッキーと咲の対話文を読んで、内容を理解することができる。<br>・三人称単数現在形の否定文含む対話文を読み、概要を捉える。<br>・本文から読み取ったことを伝え合う。<br>・本文をペアで日本語から英語に直して読む。                             |   |
| 7         | ○Part 1～3<br>三人称単数現在形を使って、自分と相手以外のものを紹介するためのメモを作ることができる。<br>・イメージマップを使って、どう紹介するかを考える。<br>・ALT が聞きやすい人物紹介にするにはどうすればよいかを考えながら作成する。<br>・スピーチの練習をする。       | 自分と相手以外の人やものについて発表を作ることができる。(ワークシート, 振り返りシート, 活動観察) 【ア, イ, 知, 思】<br><br>間違いを恐れず, 既習表現等を使いながら積極的に表現しようとしている。(振り返りシート, 活動観察) 【ウ, 学】 |
| 8<br>(本時) | ○Part 1～3<br>作成したメモをもとにグループ内で発表し, よりよいスピーチをするために改善することができる。<br>・メモを見ながら, 紹介したい人物のスピーチをする。<br>・聞き手は, 自分のスピーチと何が違うかを見つながら聞く。<br>・聞き手はスピーチの内容に関する質問を作成する。 | 自分と相手以外の人やものについてのメモを使って, 発表をすることができる。(ワークシート, 振り返りシート, 活動観察) 【イ, 思】<br><br>間違いを恐れず, 既習表現等を使いながら積極的に話そうとしている。【ウ, 学】                |

|    |   |  |
|----|---|--|
| 後日 | <p>○パフォーマンステスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の紹介したい人物についてスピーチをする。</li> <li>・ルーブリックをもとに評価し、生徒もお互いを評価する。</li> </ul> <p>○ペーパーテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の紹介したい人について書く。</li> </ul> | <p>間違いを恐れず、既習表現等を使いながら積極的に話そうとしている。【ウ, 学】</p> <p>自分と相手以外の人やものについてのメモを使って、発表をすることができる。(ワークシート, 振り返りシート, 活動観察)</p> <p>【イ, 思】</p> <p>三人称単数現在形を用いた文の構造について理解している。(ペーパーテスト)【技, 知】</p> |
|----|---|--|

## 本時の学習

### (1) 本時の目標

自分の紹介したい人物についてスピーチすることができる。

(知識及び技能／思考力・判断力・表現力)

### (2) 観点別評価規準

| B   | A  | C                                   |
|---|--|-------------------------------------|
| 「自分の好きな人物」について、おおむね正確に、相手に伝わるような紹介することができる。 | 「自分の好きな人物」について、情報や順番を精査し、さらに情報を追加して紹介することができる。 | 「自分の好きな人物」について、内容が伝わる程度に紹介することができる。 |

### (3) 準備物

教科書, ファイル, ワークシート, スピーチメモ, 辞書, テレビ

### (4) 学習の展開

|        | 学習活動   | ◇指導上の留意事項<br>◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて   | 評価規準<br>(評価方法) |
|--------|--|---|----------------|
| 導<br>入 | <p>① 曜日や天気などについて音声によるやり取りさせ、振り返りシートに書かせる。</p> <p>Good afternoon.</p> <p>What day is it today?</p> <p>What month is it?</p> <p>What is the date today?</p> <p>How is the weather?</p> <p>② ペアで表現練習 (Unit 6) をする。<br/>「Does ~?」</p> <p>③ 人物紹介の練習をする。</p> <p>④ めあての提示</p> | <p>◇英語を話す雰囲気を作る。</p> <p>◆フォニックスでヒントを与え、最初の一文字でも書けるようにする。</p> <p>◇単元の表現を毎時間ペアで復習させることで、声を出す練習と表現の定着を図る。</p> <p>◇黒板に提示された写真の人物についてペアに伝える練習をすることで三人称単数現在形を使って表現できるようにする。</p> |                |
|        | <p>本時のめあて 自分の紹介したい人物についてスピーチすることができる。</p>  |   |                |
|        | <p>⑤ ALT のスピーチ動画を見て、スピーチ発表で気を付ける点について意見を出</p>  | <p>◇聞き手に伝わるスピーチにするにはどうすればよいかを確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">スピーチの内容に関する項目</p>   |                |

|      |   |   |        |
|------|---|---|--------|
|      | し合う。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>話し手として伝えたい内容や順番を考える必要がある</li> <li>聞き手に分かりやすい展開や構成を考える必要がある</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">スピーチの仕方に関する項目</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>アイコンタクト</li> <li>姿勢</li> <li>表情</li> <li>抑揚</li> <li>聞き手への問いかけ</li> </ul> |        |
|      | 学習課題 ALT に自分の好きな人物を紹介しよう。   |   |        |
| 展開①  | ⑥ペアでメモをもとにスピーチの練習をする。また、どんな質問ができるか考える。  | ◇イメージマップやメモをもとにスピーチの練習をする。  | ワークシート |
| 展開②  | ⑦実際にスピーチをして、スピーチを聞いた後に、質問をする。<br><br>⑦ペア同士、紹介しあってアドバイスをし合う。   | ◇聞き手がさらに知りたいと思う情報は何かを気づかせる。<br><br>◇事実や自分の考え、気持ちなどを整理できているか考えさせる。<br><br>◇スピーチの順番と展開は分かりやすいか考えさせる。  | 行動観察   |
| 振り返り | ⑧振り返りを書く。   |   | 振り返り   |
|      | <p>○生徒の振り返り例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・be 動詞や一般動詞をどちらかだけでなく、両方を使うことで幅広い表現ができることが分かった。</li> <li>・聞き手にわかりやすいスピーチをするには、その単語にあった言葉選びをする必要があるということが分かった。</li> <li>・ただ話すだけでなく、抑揚やジェスチャーなどを用いることでより伝わることが分かった。</li> <li>・スピーチでは伝える順番を考えることで伝わりやすさは大きく変わることが分かった。</li> <li>・他の自分と相手以外の人やものについて説明してみたいと思った。</li> </ul> |   |        |

(5) ねらいに対する評価規準を示すルーブリック (パフォーマンス評価)

| 尺度 (評点・レベル) | 記述語   |
|-------------|---|
| A (理想的)     | <p>既習事項の表現などを使いながら、「自分の好きな人物」について、情報や順番を精査し、さらに情報を追加して紹介する工夫ができた。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">スピーチ例</div> <p>Hello, everyone. I'm ~. Do you like tennis? Look at this picture. This is my favorite person, Oaska Naomi. Do you know Oksaka Naomi? She is a famous tennis player. She is from Osaka, and she lives in America now. She speaks English really well. She likes</p> |

|                |  |
|----------------|--|
|                | Japanese food very much. She likes eels, sushi and yakiniku. She also likes manga and anime. She is a “Haikyū” fan. I am a “Haikyū” fan, too. She is good at playing tennis and very kind person. So, I like Osaka Naomi very much.  |
| B (合格)         | 「自分の好きな人物」について、相手に伝わるよう構成を考えて紹介する工夫ができた。<br><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">スピーチ例</span><br>Hello, everyone. I’m ~. Look at this picture. This is my favorite person, Oaska Naomi. She is a famous tennis player. She lives in America. She speaks English really well. She likes Japanese food very much. She also likes manga and anime. She is a “Haikyū” fan. She is good at playing tennis and very kind person. So, I like Osaka Naomi very much. |
| C (乗り越えさせたい実態) | 「自分の好きな人物」について、内容が伝わる程度に紹介することができる。<br><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">スピーチ例</span><br>Hello, everyone. I’m ~. Look at this picture. This is Oaska Naomi. She is a tennis player. She lives in America. She speaks English really well. She likes Japanese food. She also likes manga and anime. She is good at playing tennis and very kind person. So, I like Osaka Naomi very much.  |

(6) 板書計画

|   |   |  |
|---|---|--|
| <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">めあて</span> : 自分の紹介したい人についてスピーチするために工夫することができる。<br><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学習課題</span> : ALT に自分のお気に入りの人物について紹介しよう。  |   |  |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;">Today’s Plan</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Greeting</li> <li>• Warm-up</li> <li>• Review</li> <li>• Think the Theme</li> <li>• Make a presentation</li> <li>• Reflection</li> </ul> </div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;">三人称単数現在形 (復習)</p> <p>He is a famous character.</p> <p>He lives in Japan.</p> <p>He likes dorayaki.</p> <p>He has a pocket.</p> <p>He doesn’t like mice.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">個人思考</span> イメージマップ</p> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> </div> </div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">集団思考</span> スピーチで必要なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 話し手として伝えたい内容や順番を考える必要がある</li> <li>• 聞き手に分かりやすい展開や構成を考える必要がある</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>• アイコンタクト</li> <li>• 姿勢</li> <li>• 表情</li> <li>• 抑揚</li> <li>• 聞き手への問いかけ</li> </ul> </div> |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">質問例</p> <p>Are you ?            Is he/she ?</p> <p>Does ~?            What is / does ?</p> <p>How many ? ...</p> </div>   |   |  |